

ものづくりのためのデジタル技術 (IoT/AI) 活用シリーズ ① デジタル技術 (IoT/AI) 基本習得セミナー

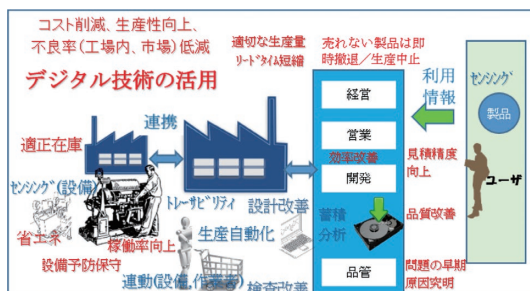
～生産現場改善の事例演習を通じてデジタル技術の基本を習得する～

| | | | |
|------|--|-------|---------------------|
| 開催日時 | 2024年 5月28日 (火) | オンライン | 各回とも 10:00～17:00 |
| | 2024年 10月18日 (金) | オンライン | |
| | 2025年 1月24日 (金) | オンライン | |
| 対 象 | <ul style="list-style-type: none"> ものづくりのためのデジタル技術の基本を学びたい方 生産技術部門担当者、生産管理部門担当者、製造部門担当者の方など 生産現場の改善をめざしている方 | | |
| 講 師 | 高安 篤史 合同会社コンサルンス 代表 中小企業診断士 | | |

■ 本セミナーのねらい

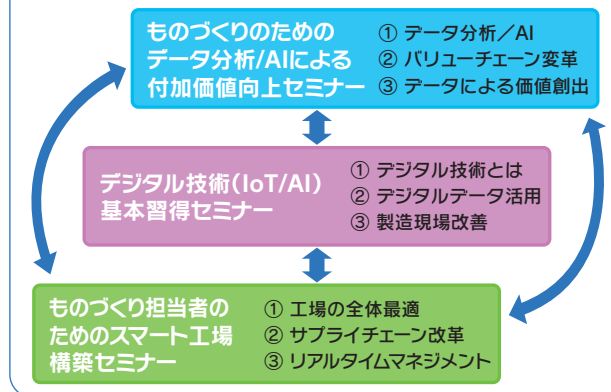
生産現場での活用を前提としたデジタル技術の基本知識習得をねらいとしています。デジタル技術の基本習得を行いたい方、自社のものづくり現場で、最小の投資で設備入れ替えなどを行わずに生産現場の改善を考えている方に最適なプログラムです。演習で使用する「デジタル技術活用纏めシート」「生産現場改善テンプレート」を自社でも活用することで、生産現場改善が可能になります。

■ 製造現場改善



■ ものづくりのための

デジタル技術 (IoT/AI) 活用シリーズ(各セミナーの関係)



■ プログラム

10:00～17:00 (昼食 12:00～13:00)

1 日

1 デジタル技術 (IoT/AI) の基本

- 製造業におけるデジタル技術の概要
- デジタル技術の構成要素
- ビッグデータとIoTとAIの関係
- 活用の4段階と3つの推進ステップ

2 生産現場のデジタル技術

- デジタル技術の俯瞰
- センサ/カメラなど
- 生産管理システム
- 産業用ネットワーク
- 加工/組立設備の接続
- 生産現場セキュリティ
- マイクロコントローラ (アルディーノ) とシングルボードコンピュータ (ラズベリーパイ) の活用方法
- 講師によるマイクロコントローラ(アルディーノ)によるセンサーデータ取得デモ

3 デジタル技術による生産現場の改善事例

- アナログ→デジタルへの段階的移行
- 生産現場のみえる化
- 設備の状況把握
- 設備の故障予知 他

4 デジタル技術活用纏めシートの活用

デジタル技術を活用した生産現場の改善事例を整理し、自社に適用可能な状態にする

5 デジタル技術による

生産現場の課題解決演習 (事例演習)

- 演習1** 作業マニュアルの誤読、技能伝承、外観検査、海外工場の立ち上げ、従業員の健康管理 等の課題をデジタル技術を活用して解決

6 デジタル技術による

生産現場の改善テンプレートの活用

デジタル技術による生産現場の改善テンプレートを理解し、生産現場改善の推進を可能にする

7 デジタル技術による

生産現場の改善推進演習 (事例演習)

- 演習2** ものづくり企業の生産現場でのデジタル技術を活用した改善推進演習: テンプレートを活用した演習 (事例企業の問題点)
- 目的の不明確
 - 工程の実績把握ができていない
 - 仕掛品の所在が不明
 - 生産管理システムが有効活用できていない
 - 経営マネジメントの問題 等

* プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



講師紹介 (敬称略)

高安 篤史

合同会社コンサルランス 代表
中小企業診断士

早稲田大学理工学部工業経営学科卒業後、大手電機メーカーで20年以上に渡って組み込みソフト開発に携わり、プロジェクトマネージャ/ファームウェア開発部長を歴任する。DFSS(Design for Six Sigma:シックスシグマ設計)に代表される信頼性管理技術やIoTビジネスモデル構築に関するコンサルタントとしての実績及び自身の経験から「真に現場で活躍できる人材」の育成に大きなこだわりを持ち、その実践的な手法は各方面より高い評価を得ている。

【公職】IoT検定制度委員会メンバー (委員会主査)

【著書】「知識ゼロからのIoT入門」(2019年 幻冬舎)

「工場・製造プロセスへのIoT・AI導入と活用の仕方」(2020年 技術情報協会) [共同執筆]

「やさしく知りたい先端科学シリーズ9「IoTモノのインターネット(モノ・コト・ヒト)がつながる社会、スマートライフ、DX推進に活用中)」(2021年 創元社)

「プラントのDX化による生産性の向上、保全の高度化」(2022年 技術情報協会) [共同執筆]



C

お申し込みについて

定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申し込みください。

1



パソコン(各種検索サイト)からダイレクトで

セミナーID(半角数字)

JMA 100604

で検索

もしくは、<https://school.jma.or.jp/>

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからの申し込みが難しい方は
JMAマネジメントスクールまでお電話にてお問い合わせください。

TEL : 03(3434)6271

2



スマートフォン
タブレットから



参加料 (消費税込)

| | |
|------------------|------------|
| 一般社団法人日本能率協会法人会員 | 56,650円/1名 |
| 上記会員外 | 67,650円/1名 |

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。

※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPIにてご確認ください。

<https://www.jma.or.jp/membership/>

※参加申込規定はJMAマネジメントスクールのWebページ(<https://school.jma.or.jp/>)に掲載しておりますのでご確認ください。

キャンセル・参加日程変更の規定

| キャンセルご連絡日 | キャンセル料 | 日程変更手数料(年度内一回限り) |
|-----------------------------|---------|------------------|
| 開催15日前～開催8日前 (開催当日を含みます) | 参加料の10% | 無 料 |
| 開催7日前～前々日 (開催当日を含みます) | 参加料の30% | 5,500円(税込) |
| 開催前日および当日 | 参加料の全額 | 7,700円(税込) |

参加日程の変更については、変更後の日程で確実に参加することを条件に1回のみ可能といたします。

電話でご確認後、所定のお手続きをお取りください。万が一キャンセルの場合、初回のお申出の日付により上記キャンセル料が発生します。なお変更後の日程のキャンセルの場合も上記キャンセル料を申し受けまますのでご了承ください。変更は同一年度内(4月～翌年3月)に限りです。

(注)変更・キャンセルの場合は必ずJMAマネジメントスクールのお問い合わせフォームよりご連絡ください。

会員制度のご案内

一般社団法人日本能率協会は法人を対象とした法人会員制度を設け、セミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。是非この機会にご入会をご検討ください。詳細は <https://www.jma.or.jp/membership/>

オンライン受講のご案内

・テレビ会議ツール「Zoom」で配信します。

事前に接続テスト <https://support.zoom.us/hc/ja/articles/115002262083> にアクセスいただき、動作をご確認ください。

・1申込につき1名様でご受講ください。

(著作権の観点から1申込で複数の方のご受講はお受けいたしません)

・ビデオオンできる環境をご用意ください。イヤホンやヘッドセット、外部スピーカーを使用しての受講をおすすめします。

・お申し込み時、参加される方のメールアドレスを必ず登録してください。

・テキストは事前に配布します。

・本セミナーの講義資料および配信映像の録画、録音、撮影など複製ならびに二次利用は一切禁止です。

・Zoomにおけるリモート制御ならびにレコーディング機能はホスト側にて停止させていただきます。

・お申し込みの前に必ず規約 (<https://school.jma.or.jp/pa/ca0rE>) をご確認ください。お申し込み完了を以て規約に同意したものといたします。

参加定員 20名 (参加人数が最少催行人数に達しない場合は、延期もしくは中止にさせていただく場合がございます。)

申込に関するお問い合わせ先 (参加証・請求書・キャンセル・変更などに関する内容)

JMAマネジメントスクール TEL : 03(3434)6271

電話受付時間 月～金曜日9:00～17:00 ただし祝日を除く

E-mail : seminar@jma.or.jp FAX : 03(3434)5505

プログラム内容に関するお問い合わせ先 (企画担当)

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

TEL : 03(3434)1410(直通)

ものづくりのためのデジタル技術 (IoT/AI) 活用シリーズのポイント

本シリーズはデジタル技術 (IoT/AI) を活用し、ものづくり企業の現場改善、工場の生産性向上、スマート工場の構築、ものづくりDX (デジタルトランスフォーメーション) などを実践したい方々向けのコースとなっております。各セミナーはそれぞれ独立したテーマで開講され、必要なテーマのみの受講が可能です。

以下のようなご要望をお持ちの方におすすめいたします。

- ✓ ものづくり企業で活用可能なデジタル技術 (IoT/AI) とはなにかを知りたい
- ✓ 製造現場でのデータ収集方法を知りたい
- ✓ 製造現場で収集したデータを活用したい
- ✓ スマート工場を計画している
- ✓ 工場全体の生産性向上を図りたい
- ✓ サプライチェーンを活かした生産体制を構築したい
- ✓ ものづくりDX (デジタルトランスフォーメーション) を推進したい
- ✓ 自社のビジネスモデルを変革したい

各セミナーの関係と位置づけ

| 名称/セミナー | ① デジタル技術 (IoT/AI) 基本習得セミナー | ② ものづくり担当者のためのスマート工場構築セミナー | ③ ものづくりのためのデータ分析/AIによる付加価値向上セミナー |
|---------|----------------------------|----------------------------|-----------------------------------|
| ポイント | 生産現場主体の改善 (小集団活動など) | あるべき姿を描いた全体最適な工場 (スマート工場) | AIなどのデジタル技術やデジタルデータによる付加価値向上 (DX) |
| ステップ | 改善 (②③のベース) | 改革 (①からの発展) | 変革 (②からの発展) |
| 企業での推進 | ボトムアップ (分析の積み上げ) | トップダウン (理想の追求) | ネットワーク (つながる世界での顧客視点) |
| デジタル技術 | デジタル技術の基本 (身近なデジタル技術の活用) | デジタル技術の応用 (基本の習得がベース) | データ分析/AI (人工知能) 中心 (ダブルメジャー) |